

1 主題名 働くことについて考える 内容項目A-(5) 真理の探究, 創造

2 教材名 「スカイツリーにかけた夢」

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

本主題は、中学校学習指導要領の内容項目A-(5)「真理の探究, 創造」を受けて設定したものである。ここでは、物事を追求する姿を通して、新しいものを生み出していくときに大切なことについて考えさせるとともに、真理を追究して新しいものを創造しようとする実践意欲と態度を育てることをねらいとしている。人間の社会は、様々な学術や技術の発展に支えられており、それを実現しているのが、試行錯誤を重ねて努力している人の存在である。物事を探究することは時に難しく、強い意思が必要であるが、よりよく生きたいと願う自分自身の未来を創造するとともに、よりよい社会をつくりあげる原動力にもなる。このような人々の存在やその影響力等についても感じ取らせたいと考え、本題材を設定した。

(2) 生徒の実態（男子14名、女子14名、計28名）

本学級の生徒は、明るく協調性のある生徒が多い。1学期に行われた体育祭では、お互いに励まし合いながら練習に取り組み、学級の団結力を高めることができた。入学してから様々な中学校の行事を体験する中で、新しい物事に向かって集団として取り組める生徒が増えている。

一方で、自分のこととなると現状にとどまりがちで、一步前に踏み出し新たなことに挑戦しようとする意欲は高いとは言えない。急激に発展した情報化社会の中で生きてはいるものの、自分の世界の広がりにつながる情報を適切に選択したり、捉えたりできないことなどが要因として考えられる。

そこで、生徒が様々なことに関心をもち、探究心をもって新しいことに挑戦していくことよさに気付かせることで、生徒自身のよりよい生き方につなげられるようにしたい。そして、新しい物事に、自分の可能性を広げる学習を行い、挑戦する意欲を育成させたい。

(3) 教材について（「スカイツリーにかけた夢」 光村図書『中学道徳』）

本教材は、東京スカイツリーの建設に関わった人々の姿が描かれている。設計士の吉野繁さんは、自分の想定よりもはるかに高いタワーの設計を依頼され驚いたが、厳しい条件を乗り越えて完成を目指す。構造が法隆寺の五重塔と似ており、吉野さんたちと先人たちが、それぞれに新しいものを生み出そうと試行錯誤した姿が重なる。生徒にこうした姿を通して、挑戦する姿勢、諦めない姿勢、工夫し続けようとする姿勢などに目を向けることが、自身の人生を豊かにするとともに、社会の発展につながるということに気付かせることができる教材である。

(4) 主題に迫る手立て

東京スカイツリー設計上の「厳しい条件」を押さえるため、導入において、スカイツリーの資料を用いて実感できるようにする。そして、そのような厳しい条件であっても、諦めずに困難を乗り越えた吉野さんを支えたものについて考えさせたい。また、生徒自身の、過去に新しいことに挑戦した経験や、挑戦できなかった体験などを振り返りながら、自分と重ねて考えることができるようにさせたい。さらに、グループや全体での話し合う活動を通して、自分と異なる意見を共感的に捉えたり、理由などを確認したりすることで他者の意見のよさを実感できるようにする。

4 本時の指導

(1) ねらい

東京スカイツリーの設計士の物事を追求する姿を通して、新しいものを生み出していくときに大切なことについて考えさせ、真理を探究して新しいものを創造しようとする実践意欲と態度を育てる。

(2) 準備・資料

- ・読み物教材「スカイツリーにかけた夢」
- ・ワークシート
- ・掲示資料
- ・プロジェクター
- ・スクリーン
- ・ホワイトボード

(3) 展開

	主な活動と発問	予想される生徒の反応	指導上の留意点・評価
導入	<p>1 主題に関わる資料を提示し、学習課題を把握する。</p> <p>○ スカイツリーについて、知っていることを出し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>新しいものを生み出していくときに大切なことは、何だろう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行ったことがある。すごく高かった。</li> <li>・世界一高い電波塔。</li> <li>・634メートル。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スカイツリーの画像を見ながら話し合うことで、興味・関心を高める。</li> <li>・建設目的は、地上波デジタル放送の電波を障害なく送信するためだということに触れ、探究心がよりよい社会の実現につながることに気付かせる。</li> </ul>
展開	<p>2 教材「スカイツリーにかけた夢」を読み、話し合う。</p> <p>○ 東京スカイツリーの建設依頼が来たとき、吉野さんはどんなことを考えたでしょう。</p> <p>&lt;補助発問&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設計の厳しい条件とはどんなもので、それをどうやって乗り越えたのでしょうか。</li> </ul> <p>◎ 吉野さんが、厳しい条件に合わせ、新しいものを造りあげたのは、どんな思いに支えられたからでしょう。 (個人→グループ→全体)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・難しそう。設計ができるか不安だ。</li> <li>・挑戦してみたい。</li> <li>・誰もやったことがないからこそ、自分が成し遂げたい。</li> <li>・諦めずにやり遂げる。</li> <li>・世界初のことを実現したい。</li> <li>・みんなとやり遂げたい。</li> <li>・社会の役に立ちたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吉野さんの思いを共感的に捉えられるよう、生徒自身が新しいことに挑戦したときのことを想起させる。</li> <li>・困難に立ち向かい、創意工夫しながら目標に向かって努力した過程に注目させる。</li> <li>・事前に個人で考えることにより、グループで意見を出しやすくする。その後全体でも意見交流し、自分の考えを広げたり深めたりできるようにする。</li> <li>・意見を視覚化し、グループの意見を共有化できるようにする。</li> </ul>
終末	<p>3 授業の振り返りを行う。</p> <p>○ 新しいものを生み出していくときに大切なことは、何でしょう。(個人→全体)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挑戦する心。</li> <li>・あきらめない姿勢。</li> <li>・工夫しようとする心。</li> <li>・知識や技術を学び続ける。</li> <li>・チームで協力する。</li> <li>・一人一人の得意分野を生かす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直前の発問で出た意見を参考にしながら、「知識や技術の習得」「チームを生かす」という視点にも気付かせたい。</li> <li>◎ 吉野さんの思いや行動を基に、新しいものを生み出していくときに大切なことについて考え、友達の意見も踏まえて考えを深めようとしている。【発言、ワークシート】</li> </ul>